

[芸術学部 デザイン工芸学科 視覚造形分野 受託研究]

広島矯正管区 矯正職員のキャラクターデザインの開発

刑務官や作業専門官等のイメージアップを図り
 認知度の向上と理解を深める

【目的】

刑務所等の矯正施設で勤務する矯正職員のキャラクターを制作して紹介し、内外に親みを持っていただくための研究および制作でした。矯正職員に対して一般に関心を持ってもらい、採用広報手法の多様化を進めるとともに、同研究・制作を当学と連携して取り組むことで、学生を始めとした地域社会が、矯正への関心と理解を深めていただくことが目的でした。



【研究・制作留意点】

制作にあたっては、国の機関のキャラクターであることを踏まえ、国民に誤解を与えたり、不快感を抱かせるようなことがないように配慮し、矯正職員の募集活動に資する親しみやすいキャラクターデザインを制作すること。職種は、刑務官、法務教官、作業専門官、矯正医官、その他(私服で勤務する調査専門官等)の5種類とし、刑務官のみ男・女の2パターン(他は男のみ)で合計6パターンのバリエーションが求められました。さらにポーズは、立ち姿の基本パターンにプラス2パターンとされました。

芸術学部デザイン工芸学科視覚造形分野の学生有志6名により、デザインを研究、制作し6案のキャラクターデザインを広島矯正管区様にプレゼンテーションしました。管内投票によって採用され、制作者には矯正管区長賞が授与され、当研究室には感謝状を賜りました。

